

## 市内各地 地名の種類と意味は？

地名や町名をたどると人々の願いや自然風土、歴史文化などが見えてきます。探究とは探し究(きわ)めること…地名に限らずひとつのことを手がかりに探っていけば、つながりや広がり、深まりが生まれてきます。

### ★河川港湾系…杭瀬・長洲・難波・浜・潮江・尾浜・上ノ島・琴浦・生島・初島・船出・元浜・高須・向島…など多数

尼崎は中世には瀬戸内海の外海として発展しました。水辺の雰囲気を残す地名が市内各地に多く存在しています。弥生時代以降、海岸線が次第に南に退いていきますが、一時的にその動きが止まり波が運んできた砂が積って「砂州」が形成されます。砂州は天然の良い港となりました。「島」「洲」「須」と名の付く地名は、砂州を示します。「浜」「浦」は海浜、「江」は湾、「瀬」は浅い所を意味します。

### ★武士名系…友行・常吉・常松・時友・栗山

地元の侍(さむらい)の名前が歴史を語ります。

### ★荘園名…稲葉荘・武庫之荘・蓬川(よもがわ)荘園

地域の有力者や寺院によって荘園が造られました。東大寺領猪名荘もそのひとつで、町名にはなかったものの「潮江東大寺公園」という公園名で名を残します。

### ★新田開発者系…平左衛門・又兵衛・道意

武庫川や猪名川の土砂堆積によってできた平野、新田開発が盛んに行われました。

### ★寺院 城郭系…若王寺・法界寺・猪名寺・金楽寺・善法寺・寺町・城内

市内にはたくさんの寺院や神社があり、地名に残ります。

### ★古代地名系…田能(たのう) 食満(けま) 椎堂(しどう) 穴太(あのを) 額田(ぬかた) 塚口

弥生時代からの独特の読み方をした地名が多く、阪急神戸線以北に存在します。

### ★ベイエリア縁起系…扇町・末広町・鶴町

人工埋立地が続くベイエリアでは、縁起のよい町名がつけられています。

### ★ストリート系…昭和通・南通、神田北・中・南通など「〇〇北通 南通 東通 西通」

### ★城下系…城内、出屋敷

城下町の名残を残す地名や戦後の市街化で通りを基準にした住居表示があります。

この他にも橋や川、地形、公共施設の名前に歴史文化が伺い知れるものもあります。(例：左門殿川)